



NHK WORLD-JAPAN の活用で多文化共生の現場に新たな風を！ ～NHK国際放送局との連携が進んでいます～

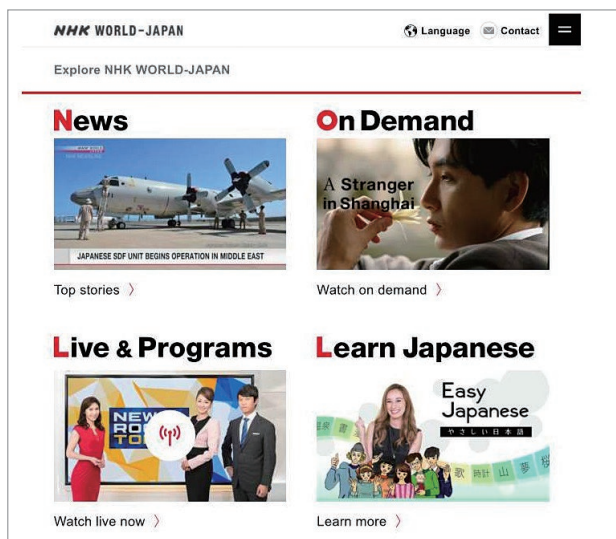
(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課 主事 金子 万利奈 (岡山市派遣)

NHK WORLD-JAPAN との 連携事例が増加中

NHK 国際放送局では、多言語でのニュース配信や日本語学習に関するコンテンツの開発、また災害情報に特化したサイトなど、自治体や地域国際化協会、市区町村国際交流協会などが活用しやすいコンテンツを提供しています。これまでは海外に向けた情報提供に主眼を置いていましたが、増加する訪日・在留外国人に向けた情報提供を強化しており、この1年で多文化共生に関わる数多くの連携が生まれました。

連携の一環として、今年度、地域国際化協会連絡協議会の全国6ブロックの総会において、NHK 国際放送局から NHK WORLD-JAPAN の事業についてご説明いただき、全国の地域国際化協会と NHK WORLD-JAPAN のさまざまなコラボレーションのきっかけとすることができました。

NHK WORLD-JAPAN とは



NHK WORLD-JAPAN ウェブサイト (nhk.jp/world)

NHK WORLD-JAPAN は、NHK の国際サービスで、テレビ、ラジオ、インターネットを通じて多彩で質の高

いコンテンツを多言語で発信しています。日本国内外、160 の国・地域の約 3 億世帯で視聴することができます。

テレビでは、英語でのニュースや番組を、外国の衛星放送やケーブルテレビ、Amazon Fire TV や Apple TV といったストリーミングデバイスを通じて、24 時間放送しています。

ラジオでは 17 言語で放送を行っており、短波、FM、中波や衛星ラジオなど、多様な手段で情報を発信しています。

インターネットサイト **NHK WORLD-JAPAN オンライン**では、テレビとラジオを放送と同時に配信するとともに、オンデマンドでも配信しています。

また、**NHK WORLD-JAPAN アプリ**では、NHK 国際放送の同時配信やテレビ・ラジオ番組のオンデマンド配信、NHK ニュースの 17 言語での配信の他、地震・津波の緊急情報の通知 (英語・中国語) も行っています。

日本の公共放送である NHK の国際サービスであるため、災害情報を含めたニュースの配信は NHK WORLD-JAPAN の事業の中でも特に充実しています。英語ニュースでの情報発信に加え、台風特設ニュースサイトの開設、地震・津波情報のプッシュ通知、中国語でのインターネットニュースの配信や、ラジオでの多言語ニュースの配信、さらにウェブサイトでは 18 言語でニュースを読むことができます。

また、BOSAI コンテンツとして、英語による **BOSAI 情報ポータルサイト**での防災・減災に関連する映像、音声、テキスト情報や、多言語による防災関連番組のオンデマンド配信を提供しています。身近な材料による防災グッズの作り方紹介や BOSAI クイズなど、誰でも楽しみながら防災について学ぶことができます。

多彩な **日本語学習番組**も放送しています。入門編の「Easy Japanese (やさしい日本語)」や仕事場でのコミュニケーションを想定した「Easy Japanese for Work (しごとの日本語)」などの番組を放送している

ほか、「Easy Japanese (やさしい日本語)」のサンプルテキストを大学や国際交流協会等に配架しています。

その他、キャラバンカーの出展や、常設モニターでの番組配信などといったPR活動も行っていきます。

本稿では、これらのコンテンツを活用した、地域国際化協会や法務省出入国在留管理庁、クリアとの連携事例をご紹介します。

モニターでの番組配信による連携

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)では、2019年夏にNHK WORLD-JAPANのテレビ放送のモニター配信を開始しました。

HIECCでは8月末に北海道外国人相談センターを設置する直前のタイミングで地域国際化協会連絡協議会総会東北・北海道ブロック大会で、NHK国際放送局の方の話を聞いたことをきっかけにNHK WORLD-JAPANのモニター配信を呼び掛けていることを知り、相談員の母語である英語での情報収集が可能なことなどから、モニター配信を行うことにしました。モニターとインターネット環境をHIECC側で、Fire TV StickをNHK国際放送局で用意し、環境を整えました。来所者や職員にNHK WORLD-JAPANについて知ってもらうきっかけとなっているほか、災害発生時に相談員が母語で情報を得ることができることから、英語で得た情報を日本語を介さずにそのまま英語で相談対応ができるなど、スムーズな相談業務の助けとなっています。



公益社団法人北海道国際交流・協力総合センターでのモニター配信の様子

また、東海・北陸地域国際化協会連絡協議会総会、業務研究会が行われた際にスピーカーとして参加した名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)担当者がNHK WORLD-JAPANの取り組みについて話を聞いたことがきっかけとなり、名古屋入管にもモニターを3台設置

し、番組の配信を行うこととなりました。

名古屋入管では、2018年12月に閣議決定された「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」や2019年6月の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について」を受け、「外国人共生センター(仮称)」を設置する方針が示されたことなどから、従来の出入国管理の側面に加え、多文化共生のための多言語化や相談サービスなどといった環境づくりを検討していました。入管の窓口には毎日1,000人ももの申請者が訪れることもあり、待ち時間は数時間に及ぶこともあります。モニターを設置することで、その待ち時間にNHK WORLD-JAPANの番組を見て、少しでも快適に過ごしてもらおうと共に、災害情報をタイムリーに得ることができたり、日本語や防災についても学ぶことができるさまざまなコンテンツについて知ってもらう機会となると考えています。

さらに、名古屋入管では、大きな台風の接近が予測される時に、NHK WORLD-JAPANから台風ニュースの特設サイトのQRコードが記載されたチラシを受け取ることができるサービスの登録を行いました。今後台風被害が予測される時には、配信されたチラシを印刷し、来庁者へ配布する予定です。

また、災害時に地上波のチャンネルで表示される交通情報などと共に、名古屋入管の申請窓口の閉鎖の情報も放送できるよう取り決めも行われました。

名古屋入管のみでなく他地域の入管でも連携が始まっており、今後の広がりが期待されます。

緊急時の情報発信での連携

2019年10月に発生した台風19号は、日本列島への接近前から関東地方を中心に大きな被害が想定されていたことから、クリアでは各都道府県、政令指定都市支部と各地域国際化協会宛へ情報提供を行った際に、NHK WORLD RADIO JAPANのアプリ(当時)と「Safety tips」(観光庁監修)のQRコードを日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語の5か国語で紹介する資料やNHK WORLD-JAPANから台風特設サイト(英語)のQRコードを記載したチラシを受け取ることができるサービスについて知らせる資料を併せて提供しました。

また、新型コロナウイルスに関するニュースを英語や

中国語で読むことができるページのQRコードを掲載したチラシも関係団体へ周知しました。

各地域の自治体等で多言語の情報を発信することが困難な場合もありますが、NHK WORLD-JAPANの発信しているページを外国人住民へお知らせすることで、台風が迫る中、母国語でのニュースを受け取れることは不安を解消する大きな手助けの1つとなります。今回は台風接近前に全国の自治体等へ情報提供の必要性を促すことができ、自治体等でもSNSなどを通じて早めの呼びかけを行うことができた事例がありました。

the Latest Information about

Coronavirus

on NHK WORLD-JAPAN

January 29, 2020

**Scan the QR code
to access our news website.**



NHK WORLD-JAPAN NEWS
#Coronavirus
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/tags/82/>

**Free of charge
Information will be updated**

新冠肺炎 华语资讯



扫描二维码免费获取
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/zh/news/>

新型コロナウイルス情報提供チラシ（英語・中国語）

キャラバンカーの出展によるイベントの盛り上げ

2019年10月にさいたまスーパーアリーナで開催された「国際フェア2019」（公益財団法人埼玉県国際交流協会（埼玉県協会）主催）へ、NHK国際放送局が出展し、NHK WORLD-JAPANのキャラバンカーとNHKのマスコットキャラクター、どーもくんが参加しました。「フェアに参加する外国人の方など幅広い方にNHK WORLD-JAPANを知ってもらいたい」というNHK国際放送局と「県内の外国人に多言語情報を届けたい」という埼玉県協会両者の思いが合致し、この連携が生まれました。

当日は、同じ会場で同時開催のイベント参加者も含めて4万5,000人が来場した会場で、大きなディスプレイを積んだキャラバンカーと認知度の高いどーもくんの来場によってイベントを盛り上げることができ、外国人を支援する団体の方々にもNHK WORLD-JAPANの取り組みを知ってもらうことができました。



「国際フェア2019」でキャラバンカーの周囲に集まる参加者

NHK国際放送局との連携を希望する方へ

公共放送であるNHKの国際サービスで、多言語での情報発信を専門とするNHK国際放送局と、在住外国人との関わりが深く、多言語での情報提供の必要性を切に感じている団体との連携は、相互の事業を発展させていく大きな可能性があります。災害時の情報発信、情報収集も平時から活用していなければいざという時に活用できません。クリアでは今後もNHK国際放送局との平時からの連携を深めていきたいと考えています。

NHK国際放送局との連携について、詳しく知りたい方は、下記の連絡先までお問い合わせください。

NHK国際放送局との連携に関するお問い合わせ先
NHK国際放送局 国際企画部
m06802-kokunai-promotion@li.nhk.or.jp
TEL 03-5455-2094 もしくは 3330

連携事例

- 常設コーナーにチラシ、日本語学習テキストを配架している団体
新潟県国際交流協会、宮城県国際化協会、仙台観光国際協会、かながわ国際交流財団、北海道国際交流・協力総合センター、静岡県国際交流協会、神戸国際協力交流センター、石川県国際交流協会、奈良県外国人支援センター、大阪国際交流センター、兵庫県国際交流協会、埼玉県国際交流協会ほか
- モニター配信
愛知県国際交流協会ほか
- イベント
かながわ国際交流財団（番組配信とチラシ配布）、秋田県国際交流協会（チラシ配布）ほか
- リンク掲載
新潟県国際交流協会、石川県国際交流協会、神戸国際協力交流センター、埼玉県国際交流協会ほか